

4・5月の郡山中学校

4月10日 生徒会活動・部活動紹介

土曜授業の10日、新入生のために生徒会活動・部活動紹介が行われました。授業ではなかなか見ることができない2・3年生の姿を見ることができ、新鮮な一時でした。生徒会の皆さんは、プレゼンテーションの作成やせりふの確認など苦労はたくさんあったことと思いますが、素晴らしい発表でした。また、部活動生の皆さんは、各部活動ごとに様々な催し物が用意してあり、楽しく見ることができました。新1年生が活動したい部を選ぶためのよい機会となりました。



4月30日 開校記念遠行



雨天のため、ここ数年では久しぶりに延期となった開校記念遠行。やや曇り空の中ではありましたが、4月30日に無事に実施されました。

八重山の坂道は急こう配が続きましたが、部活動や体育で鍛えられた生徒たちは元気いっぱい。復路は各自のペースで踏破を目指しましたが、10位以内に5人も入るという快挙を成し遂げた学級もありました。

保護者や地域の皆様のご協力もいただき、参加者全員が大きなけがもなく17.6Kmを無事に踏破できました。生徒は「1分でも、1秒でも早くゴールできるように自分の限界にチャレンジした。」「行るときは途中で止まったり弱音を吐いたりしたけど、帰りは最後尾から16人くらい抜くことができ頑張れた。」「最後は足裏が痛くなったけど歩き切れてよかった。友達と語り合えて楽しかった。」と大きな喜びと達成感を感じていました。学校を出発する前と踏破後では表情も変わり、たくましくなって帰ってきたように感じました。

5月8日(土) 前期生徒総会

郡山中学校生徒会は、5つの専門部会で組織されており、その専門部長が中心となり、様々な活動を行っています。今回の生徒総会では、それぞれの活動の報告や、今年度の目標等の確認、会計報告や予算案の提示、それに加え、校則等をはじめとする、私たちの学校生活が、より充実したものとなるような話し合いを行いました。

本来であれば、体育館に全校生徒が集まり、クラス代表が質問を行い、それに答えていく形で会は進行されるのですが、新型コロナウイルス感染予防のため、急遽、放送による総会に変更となりました。

連休明けより、昼休みを使ってリハーサルを行ってきたため、準備を行ってきた皆さんには申し訳なかったですが、それらの質問をすべて、代議員の皆さんに託し、教室で放送を聞きながら、よりよい学校生活について考えてもらう会となりました。

<放送室前の光景>

放送内容や順番をチェックしたり、急遽、補足が必要な内容をつけ足したりと、生徒会役員は一人一人の役割をしっかりと果たしてくれました



わくわくタイムの平和学習(2年)

わくわくタイム(総合的な学習)では、修学旅行の事前学習として、平和学習がはじまりました。その1歩目として、「火垂るの墓」を視聴しました。

ご存知のように、作家 野坂昭如さんの子ども時代の体験を原作に作られたアニメです。これまでもテレビ放映されているので、内容を知っている生徒もいますが、登場人物に感情移入していく生徒もいたようです。

戦争を知らない私たちですが、このような学習をすることで、平和を強く望む気持ちを醸成していきたいものです。



5月13日 3年進路学習(自己の生き方)

5月13日は、進路学習で職業講話を行いました。新卒応援ハローワークの有元沙耶香さんにお話をいただきました。これから進路を決定していく上でのヒントがたくさんあったと思います。受検校を決めるのは11月の三者面談。それまでに職業や上級学校についてたくさん調べて、知識を広げていくことで選択肢が広がります。

5月20日はボランティアに関する講座と福祉体験学習, 21日は男女共同参画政策アドバイザー・多様性トレーナーの高崎 恵さんによるわくわく講演会と、みんなが自分らしく生きることができる社会を実現するために、どうしていったらいいかを学びました。これからもたくさん学んで、自分の見方や考え方を広げたり、深めたりしていきましょう。

<5月13日 有元沙也加さん 講話感想>

○ まずはハローワークについて詳しく知れてよかったです。どんなことでやりがいを感じ、コロナの影響でどうなっているのかとか分かりました。夢がなくてもこれから環境や出会う人によって見つけ出せるのかなと思いました。今のところ気になっている仕事はあるけど不安定だと思うのでちゃんとした仕事を見つけていきたいです。

○ 世の中には1万7000種類の仕事があって、1つ1つに個性がある。今やりたいことがみつからなくても今できることを精一杯頑張ろうと思いました。コロナ禍などのつらいことに終わりがくることを信じて頑張りたいです。

○ 勉強することは自分の選択肢を広げることにつながるということを聞いて、嫌々ながらに勉強をするのではなく、考えかたを変えて勉強しようとも思った。自分のなりたい職業についてよく理解し、夢をかなえるためにどのようにすればよいか考えていきたい。

<5月21日 高崎恵さん わくわく講演会感想>

○ 小学校のころ発表で間違えたり、ほかの人と違うところをからかわれたりした経験から、発表することや自分の長所をみんなに伝えることができなくなっていた。今日の講話から、みんな違うことをおかしいと思わず、前向きに生きたいと思った。

○ 違いはあたらしい意見を生み出すものという言葉から発表に対する意識が変わり、もっと積極的に発表しようと思いました。



○ これからは発表しやすい空気にしていきたいと思った。いろんな考えの人、違う考えをもっている人もいたから、もっと知っていきたいなと思った。

○ 違いをただすのではなくて違いを認めていければ、もっと一人ひとりが生活しやすい世の中になっていけるのかなあと思った。

☆ 自分の考えを話すことはとてもいいこと。あなたの意見から他人が学ぶこともできるし、他の人との意見をミックスして新しいよりよい考えがでてくるはず。人間の可能性はすばらしいから…

本を読んでみよう — 選書会 —

例年になく早く梅雨入りし、雨続きの毎日ですが、どのように過ごしていますか。今週の昼休みは、図書館で選書会が行われました。

約300冊の本の中から、読みたい本やみんなに読んでもらいたい本を選書会メンバーが2冊ずつを選びました。近いうちに、図書館の本棚に、メンバーが選んでくれた本が並ぶことでしょう。

選書会の様子を見ながら、「本屋大賞」が思い浮かびました。全国の書店員さんが一番売りたい本、読んで面白かった本を選び、一番多くノミネートされた作品が、その年の「本屋大賞」になります。原作がドラマ化や映画化される作品も多く、何を読もうかな？と思った時はおすすめです。

過去の本屋大賞作品は、『博士の愛した数式』『夜のピクニック』『東京タワー オカンとボクと時々、オトン』『一瞬の風になれ』『ゴールデンズライバー』『告白』『天地明察』『謎解きはディナーのあとで』『舟を編む』『海賊と呼ばれた男』『村上海賊の娘』『鹿の王』『羊と銅の森』『蜜蜂と遠雷』『かがみの孤城』『そして、バトン渡された』『流浪の月』『52ヘルツのクジラたち』です。

